



阿部 一男 議員  
(平和環境市民クラブ)

## 総合花巻病院の医師確保は 婦人科医師は確保し診療開始

【Q】 総合花巻病院は移転整備基本構想案を発表した。①花巻市の地域医療ビジョンに掲げる課題がどう反映されているか。②移転整備に伴い産婦人科、小児科、眼科の外来診療の開設を目指し、医師確保に努めているが見通しは。③県の医師養成に係る奨学金制度では総合花巻病院は医師派遣の対象とされていないが、派遣されるよう県に対し、どのように働きかけているか。④総合花巻病院の経営状況を伺う。



4月から婦人科医師を確保した総合花巻病院

【A】 ①課題に対応するため、市の地域医療ビジョンの取り組み方針で市内の中心部において複数の診療科目と入院病床を有する病院の確保に取り組むことを掲げており、総合花巻病院が市の中心部において、地域医療の中核を担い続けていくことは、市の地域医療ビジョンの目指す姿に合致しており、具現するための大切な手段と考える。②全国的な医師の偏在により、当面は医師の確保が難しいと理解しているが、婦人科については、本年4月より常勤医1名と非常勤医1名による診療を開始したと伺っている。③昨年来、岩手県や県医療局、岩手県国民健康保険団体連合会に対して、養成

医師の配置先の運用を見直すよう要望を続けていたところ、今年度、岩手県国民健康保険団体連合会が県内全市町村に対するアンケート調査の実施を検討することとなった。また、医師派遣に係る岩手医大等への働きかけに市も強力に支援していく。④病院部門の収支状況は年々改善傾向にある。経営改善を図るため、院内に経営改革委員会を立ち上げ、現場職員の声や経営コンサルタントの意見を聞きながら、出来ることから取り組んでいると伺っている。

【そのほかの質問】 農業問題について、林業問題について



伊藤 源康 議員  
(明和会)

## コメの主産地確立を目指して 消費者・実需者ニーズに応える

【Q】 市の農業振興を考える上で、コメの生産にどう取り組むかは大きな課題である。しかし、人口減少に伴い、コメ消費の減少は止まらず、生産コストも高止まりしているなどコメをめぐる環境は厳しい。市の農業生産に占めるコメの割合は大きく、今後どのようにしてコメの主産地として生き残るのか、新品種への対応も含めた主産地確立への方策を伺う。

【A】 県がコメ産地確立のため策定した「水稻品種選定と栽培管理指導の指針」では、それぞれの地域で産地計画を作成することとなっており、本市では花巻農協が作成した産地計画による「銀河のしずく」や「ひとめぼれ」の栽培適地への作付推進、適期移植・収穫、ケイ酸資材の施用などによる食味向上に取り組むなど、関係機関・団体との連携を図りながら、消費者・実需者ニーズに合ったコメの生産を支援していく。「銀河のしずく」の作付については、産地化計画に基づき、生産者と関係団体で組織する「花巻地域栽培研究会」が定める栽培管理基準に沿い、品種の特徴を最大限に発揮できるよう、栽培管理を徹底し「特A」評価の取得を目指していく。



周辺に新図書館の建設が予定されているまなび学園(花城町)

【そのほかの質問】 生涯学習施設の整備について、教育施策について

## 中央図書館の建設は

【Q】 これまでの市の発表では、新図書館の建設場所は、まなび学園周辺というのだが、今後の建設計画について伺う。

【A】 図書館は、都市機能誘導区域内である生涯学習都市会館周辺への建設が適切と考えている。本年度は花巻図書館への提言をいただいた花巻図書館整備市民懇話会や花巻市立図書館協議会の委員はもとより、市民の意見を伺いながら図書館整備に関する基本構想案づくりを進めていく。



瀬川 義光 議員  
(市民クラブ)

## 消防団組織再編の考え方は 消防団の考え方を尊重

【Q】 花巻市消防団組織等見直し委員会による検討が進められているが、組織再編の考え方について伺う。また、団員確保や参加率減少対策として、若手団員の意見を生かすための方策について伺う。

【A】 消防団自身の考え方を尊重しながら、急激な組織再編により消防団活動に支障を来さないよう、段階的に見直しを図り、その後において団員数が減少し、消防団活動が困難になるようであれば、分団についても、より広域的に見直しが必要と考えている。

若手団員の意見の活用策については、アンケート調査を行い、現状と将来をしっかりと見据えた意見や提言を集約、検討して今後の消防団組織のビジョン策定につなげたいと考えている。

## 免許自主返納促進

【Q】 高齢者等の自動車運転免許証の自主返納を促すため、自主返納者に対して公共交通機関の割引等の優遇措置が有効であると考えるが、こうした事業を進める考えについて伺う。



花巻市消防演習(6月5日)

【A】 自主返納については、高齢者の交通事故抑止の取り組みの一環として、交通安全教室等で周知活動を実施していく。自主返納者に対する公共交通機関等の割引については、公共交通バス路線の減少、デマンド交通の導入等の検討、本市の財政負担など総合的に関係することから、先行して実施している他市の状況も確認しながら、導入の可否について検討していく。

【そのほかの質問】 スポーツ振興について



松田 昇 議員  
(花巻クラブ)

## 空家等対策計画(案)について 内容精査し7月中旬に公表予定

【Q】 全国的に人口減少の流れが続く適切な管理が行われていない空き家等が発生し、防災、衛生等、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。本市でも空家等対策計画の策定を進めているが今後の具体的な策定スケジュールについて伺う。

【A】 計画策定のスケジュールは、本年4月22日に開催した市内有識者や地域代表者で組織する花巻市空家等対策協議会での協議を経て、5月20日から1カ月間パブリックコメントを実施した。これらを踏まえ、再度協議会で内容の精査を行い、本年7月中旬に公表する。

## 観光施策について

【Q】 国内旅行者の減少が続いている状況にあるが、市内観光業者は、外国人旅行者の獲得に活路を見出している。そこで本市の訪日外国人旅行者の増加策について伺う。

【A】 訪日外国人観光客の増加策として、本年3月、台湾ケーブルテレビの旅番組を招請し、市内温泉宿泊施設、飲食店などで撮影を行い、台湾全域で2日間放映された。さらに中国、マレーシア、シンガポールなどに



国際定期便の就航が期待される花巻空港

中華航空などの機上チャネルでも放映された。また、花巻観光協会では国内の商談会で台湾、中国、東南アジアなどの旅行エージェンツへの売り込みや台湾人向け観光情報サイトに情報を掲載している。その中で本年1月、岩手県商工会連合会から旅行業界に精通した方を観光協会専務理事に迎えるとともに、4月からは観光業務に経験のある市職員を派遣し、観光協会の体制を整え、花巻温泉郷のホテル・旅館を含む市内宿泊施設の訪日観光客誘致の取り組みを強化している。

【そのほかの質問】 公共施設等総合管理計画の取り組みについて、花巻市の地域医療ビジョンについて